

神経内科」と「内科」、また、「学会専門医」と「非専門医」では、活動の実態が異なる傾向がみられ、今後の認知症サポート医の役割や機能の明確化や方向性の提示においては、これらの状況および全体の診療科や学会専門医の構成割合等を十分に踏まえた検討が必要と考える。

(3) 地域における認知症サポート医の活用には、行政と地域包括支援センターの理解が不可欠

認知症サポート医が個々の活動範囲にとどまらず、地域の認知症に関する仕組みの中で、連携等の一定の役割を果たしていくためには、市町村行政や地域包括支援センター等の資源に広く認知・理解されることが不可欠である。そのため、国や都道府県・指定都市から、市町村さらに地域包括支援センターに対する情報提供・広報を強化する必要がある。

認知症サポート医同士のつながりから仕組み作りに展開していく例もみられるが、市町村行政、各地域包括支援センター、地域医師会等によって、いかに認知症サポート医に一定の役割を担ってもらうか、認知症対策等総合支援事業等の活用による費用手当を含め、地域づくりを行うことが望まれる。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

再掲) 身近型認知症疾患医療センターの調査

厚生労働科学研究費補助金 (認知症対策総合研究事業)

認知症疾患医療センターの機能評価

分担研究者

栗田 主一 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム
(研究部長)

研究要旨

身近型認知症疾患医療センターの施設基準及び業務水準の立案に資する基礎資料を得るために、全国より選定した身近型認知症疾患医療センター候補医療機関 11 施設の活動状況のヒアリング調査を実施した。その結果、身近型認知症疾患医療センター候補医療機関は、周辺症状や身体合併症に対する入院対応機能は低いものの、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」においては、認知症疾患医療センターとほぼ同等の機能があり、認知症サポート医よりも高い機能を発揮していることが示された。さらに「在宅医療機能」や「アウトリーチ機能」において高い機能を発揮している医療施設があることも明らかになった。身近型認知症疾患医療センターにおいては、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」は必須機能であり、特に、行政や地域包括支援センターと連携した認知症初期対応支援機能を担うことが強く求められる。

A. 研究目的

認知症疾患医療センターは、認知症の専門医療(専門医療相談、鑑別診断と初期対応、身体合併症や周辺症状の治療)を提供するとともに、地域連携を推進し(認知症疾患医療連携協議会、かかりつけ医等の研修、情報発信)、それによって地域における認知症の保健医療水準を向上させることを目的としている。

筆者らは、先行研究において、日本老年精神医学会専門医を対象とするアンケート調査を行い、認知症疾患医療センターの適正な設置件数は高齢者人口 6 万人に 1 か所程度であることを示した(平成 20 年度厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業)。一方、厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチーム報告書(平成 24 年 6 月)および認知症施策推進 5 カ年計画(平成 24 年 9 月)においては、「身近型」という認知症疾患医療センターの新たな類型を創設し、「基幹型」「地域型」「身近型」を含め、認知症の早期診断を担う医療機関を全国に約 500 か所(高齢者人口 6 万人に 1 か所)整備することを公表している。

本研究では、身近型認知症疾患医療センターの施設基準及び業務水準の立案に資する基礎資料を得るために、身近型認知症疾患医療センター候補医療機関の活動状況を調査した。

B. 研究方法

調査対象は、認知症の専門医療に携わる関係者の意見を参考にして、「身近型認知症疾患医療センター候補医療機関」として全国より選定した11の医療機関である。調査期間は平成24年10月12日～平成25年3月1日。各医療機関には事前に自記式のアンケート調査を送付し、後日訪問し、アンケートの回答を参考にしながら、医療機関の代表者または診療担当者に面接して聞き取り調査を行った。調査項目は、(1)医療機関の形態、(2)医療機関の機能(①人員体制、②検査体制、③入院体制、④鑑別診断機能、⑤地域連携機能、⑥人材育成機能、⑦一般病床がある場合の身体合併症対応機能)、(3)認知症のための医療サービス全般である。

(倫理面への配慮)

本研究では個人情報を取り扱われていない。各医療機関の代表者にメールおよび電話で調査協力の同意を得た上で、改めて文書による説明(研究の趣旨、方法等)を行い、調査協力の同意を得た。

C. 研究結果

1. 医療機関の形態

調査対象となった医療機関の開設者、種別、標榜診療科、病床数は表1の通りである。医療機関の種別では、無床診療所が9施設、総合病院無床精神科が1施設、訪問診療を行っている単科精神科病院(認知症患者の入院対応は実質的に行っていない)が1施設である。すべての施設が精神科を標榜しており、4施設は神経内科も標榜している。

2. 医療機関の機能

2-1. 人員体制

すべての医療機関に常勤の専門医(認知症疾患医療センター運営事業の実施要綱の基準に該当)が配置されており(100%)、配置人数は平均1.6人(1人～3人)。非常勤を含む看護師は9施設で配置され、配置人数は平均1.9人(0人～9人)。非常勤を含む精神保健福祉士(または保健師)は9施設で配置され(82%)、配置人数は平均1.2人(0人～5人)。非常勤を含む臨床心理技術者(または作業療法士)は9施設で配置され(82%)、配置人数は平均1.5人(0人～4人)であった。11施設中8施設(73%)に認知症の相談業務にあたる部署が設けられており、すべての施設において、精神保健福祉士(または保健師)、臨床心理技術者(または作業療法士)、その他(事務職等)のいずれかの職員が配置されていた(表2)。

2-2. 検査体制

自施設での検査は、血液検査 9 施設 (82%)、尿一般検査 9 施設 (82%)、心電図 7 施設 (64%)、神経心理検査 11 施設 (100%)、頭部 CT 検査 1 施設 (9%)、頭部 MRI 検査 1 施設 (9%)、頭部 SPECT 検査 1 施設 (9%) であった (表 3)。

2-3. 入院体制

周辺症状や身体合併症などのために入院が必要な患者に対して、自施設の一般病床で対応するのは 1 施設 (9%)、自施設の精神病床で対応するのは 0 施設 (0%)、自施設以外の一般病院へ紹介するのは 11 施設 (100%)、自施設以外の精神科病院へ紹介するのは 9 施設 (82%)、その他の対応を行うのは 2 施設 (18%) であった (表 4)。その他の対応としては、①併設している老人保健施設、グループホーム、ショートステイで対応するもの、②訪問診療先の介護施設に入所させていただき、往診で対応するものがあった。

2-4. 鑑別診断機能

年平均の全疾患診断数は 386 人 (48 人～756 人)、認知症関連疾患診断数 (軽度認知障害を含む) は 215 人 (45 人～414 人)、アルツハイマー型認知症 (脳血管障害を伴うものを含む) 診断数は 142 人 (9 人～300 人) である (表 5)。認知症関連疾患の診断数は、アルツハイマー型認知症 (脳血管障害を伴うものを含む) が最も多く、全体の 63.5%、次いで軽度認知障害 (10.3%)、レビー小体型認知症 (9.1%) が多かった (図 1)。

2-5. 地域連携機能

他の医療機関からの紹介患者数は年平均 107 人 (18 人～213 人)、他の医療機関への逆紹介患者数は年平均 49 人 (3 人～159 人) (表 6)。地域のスタッフを交えた多職種でのケース会議を実施している医療機関は 8 施設 (73%)、地域の連携体制強化のための協議会 (例：認知症疾患医療連携協議会など) に出席している医療機関は 6 施設 (55%) であった。また、行政や地域包括支援センター等と連携して、認知症患者の自宅を訪問し、医療やケアについて助言または指導をおこなうことがある医療機関は 6 施設 (55%)、回数は 0～1960 回、他の医療機関または介護施設に訪問して、認知症の医療やケアについて助言・指導を行うことがある医療機関は 9 施設 (82%) であった (表 6)。

2-6. 人材育成機能

かかりつけ医を対象とする研修会は 11 施設 (100%) で実施しており (年平均 8.6 回、2～16 回)、地域包括支援センター職員を対象とする研修会は 10 施設 (91%) で実施していた (年平均 4.3 回、0～10 回)。その他の研修会も 9 施設 (82%) で実施しており (年平均 10.6 回、0 回～35 回)、上記のいずれの研修会も 11 施設 (100%) で実施し、その回数は年平均 23.5 回 (6～60 回) であった (表 7)。

2-7. 一般病床がある場合の身体合併症対応機能

調査対象医療機関において、一般病床がある医療機関は 1 施設 (施設番号 7) のみであった。同医療機関では、新患の認知症関連疾患の診断件数は年 54 件に留まるが、認知症関連疾患以外の症状性を含む器質性精神障害の診断件数が年 123 件あり、そのほと

んどが他の診療科からの院内紹介によるせん妄のケースである。また、同院は、①救急告示病院の指定を受け、②身体合併症のために救急受診する認知症患者の周辺症状対応の支援やケースワーク、③一般病床に入院する認知症患者の周辺症状対応の支援やケースワーク、④院内の一般診療科の医師または看護師等を対象とする認知症対応力向上や院内連携推進をめざした研修を行っている。しかし、診療報酬(A230-4)の精神科リエゾンチーム加算は算定されていない。その理由は、算定基準にある認定看護師の確保が困難なためとされている。

2-8. 介護保険サービス事業等の併設

訪問看護ステーション、訪問リハビリステーション、デイケア、デイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所等の介護保険サービス事業所等を併設している医療機関が6施設(55%)あった。こうした施設は、このようなサービスを通して、相談機能、アウトリーチ機能、身体合併症や周辺症状に対する対応機能を高めることによって、認知症高齢者と介護家族の在宅生活を支援していることが窺えた(表8)。

3. 認知症のための医療サービス全般

認知症のための医療サービス45項目について、その実施状況を、a. 通常の業務として実施している、b. 通常の業務としてではないが、状況に応じて実施することもある、c. 実施していない、の3件法で回答を求めた。各項目をカテゴリー化し、カテゴリー別の実施状況を見ると、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」「かかりつけ医機能」で高い機能を発揮している医療機関が多いことがわかる(表9)。また、筆者らが作成した「認知症のための医療サービス調査票28項目版-MSD-28」を用いて、その機能をレーダーチャートで表示すると、上記4機能の平均スコアはほぼ満点であり、これらの機能に関わる業務は、すべての医療機関で、通常業務として実施されていることが示された(図2)。さらに、筆者らが、先行研究において、東京都の一般診療所の認知症対応力を評価した結果と本調査の結果を結合すると、身近型認知症疾患医療センター候補医療機関は、認知症サポート医よりも、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」において、明らかに高い機能を発揮していることが可視化された(図3)。

D. 考察と結論

本研究の調査対象となった身近型認知症疾患医療センター候補医療機関には、無床診療所、総合病院無床精神科、単科精神科病院といった多様な形態の医療施設が含まれているが、いずれも認知症高齢者の入院治療に対応するための精神病床は実質的に有していないという特徴があった。

これらの医療機関の機能を、①人員体制、②検査体制、③入院体制、④鑑別診断機能、⑤地域連携機能、⑥人材育成機能、⑦身体合併症対応機能という観点から見ると、認知

症疾患医療センターと比較して、周辺症状や身体合併症に対する入院対応機能は明らかに低いものの、ほぼすべての医療機関に、①専門医、精神保健福祉士または臨床心理技術者（または作業療法士）が配置されており、②神経心理学的検査は自施設で、神経画像検査は連携医療機関で行われ、③入院が必要な場合には一般病院または精神科病院と連携してこれに対応し、④年間に平均 200 人以上の認知症関連疾患の鑑別診断が行われており、⑤高い紹介率と逆紹介率が示し、⑥かかりつけ医や地域包括支援センター職員等の研修事業に積極的に貢献していることが明らかにされた。

また、サポート医と比較すると、身近型認知症疾患医療センター候補医療機関は、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」において、明らかに高い機能を発揮しており、半数以上の医療機関において、行政や地域包括支援センターと連携した自宅訪問による認知症支援、他の医療施設や介護施設への訪問による認知症支援が行われていることが示された。国のオレンジプランでは、地域包括支援センター等に拠点を置いた認知症初期集中支援チームの事業化が計画されているが、身近型認知症疾患医療センターは、こうした事業と連動し、行政や地域包括支援センターと連携した、アウトリーチを含む認知症初期対応支援機能を発揮できる可能性がある。

身近型認知症疾患医療センターにおいては、「鑑別診断機能」「周辺症状外来対応機能」「地域連携機能」は必須機能と考えられる。これに加えて、行政や地域包括支援センターと連携した認知症初期対応支援機能を担うことが強く求められるであろう。

E. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 栗田主一：診療所医師の機能。認知症地域医療支援事業の意義について。老年医学 51: 35-38, 2013.
- 2) 栗田主一：認知症に対応できる地域包括ケアシステムの確立に向けて。日本老年医学雑誌. 50: 200-204, 2013.
- 3) 栗田主一：地域包括ケアシステムの構築とわが国の認知症施策の方向性：特に、認知症の早期診断・早期対応について。Dementia Japan 27: 2-9, 2013.

2. 学会発表

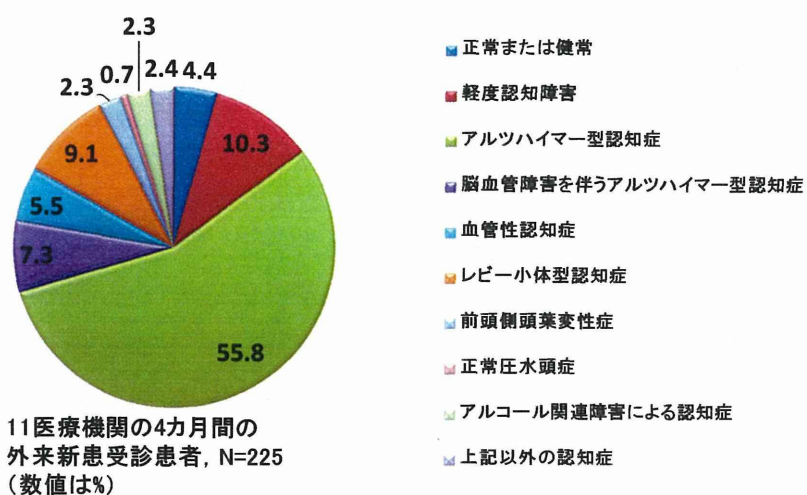
- 1) 栗田主一：認知症診療の枠組み。第 109 回日本精神神経学会メインシンポジウム。2013 年 5 月（福岡）。
- 2) 栗田主一：認知症疾患医療センターの活動状況調査。第 28 回日本老年精神医学会シンポジウム。2013 年 6 月（大阪）。

F. 知的財産権の出願・登録状況

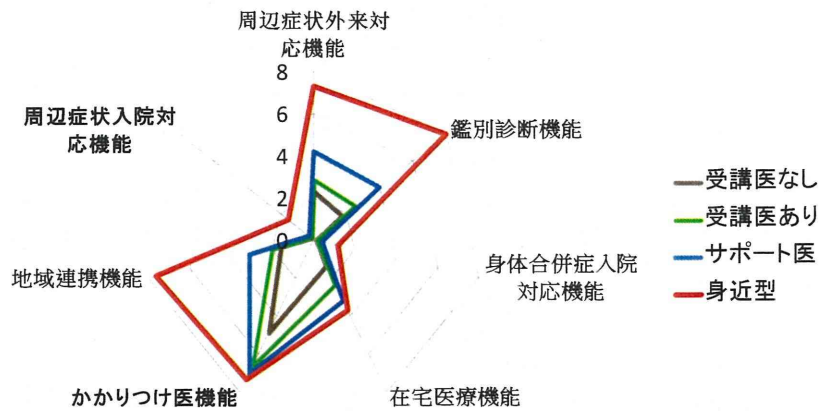
1. 特許取得

- なし
- 2. 実用新案登録
 - なし
- 3. その他
 - なし

認知症関連疾患の診断別割合



身近型認知症疾患医療センター候補医療機関と サポート医の認知症対応力の比較



H26年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山口晴保			認知症にならない・負けない生き方	サンマーク出版	東京	2014	全260ページ
梅垣宏行	・サルコペニア ・認知症と運動	荒木 厚	ココに注意！ 高齢者の糖尿病	羊土社	東京	2015	156-160, 180-184
梅垣宏行	フレイルと認知症 (精神心理的側面)	葛谷雅文・ 雨海照祥	フレイル 超 高齢社会にお ける最重要課 題と予防戦略	医歯薬出版株式会 社	東京	2014	Part 3
Matsubayashi K	How did people come to live in the highlands? – Physiological and evolutionary adaptation perspectives. In Aging, Diseases and Health in the Himalayas and Tibet: Medical, Ecological and Cultural Viewpoints	Okumiya K	Rubi Enterprise	Dhaka	Bangladesh	2014	17-31
Matsubayashi K	Aging, Diseases, Death and Purpose of Life in Qinghai-Common Ground for the Agricultural Han and the Herding Tibet. In Aging, Diseases and Health in the Himalayas and Tibet: Medical, Ecological and Cultural Viewpoints	Okumiya K	Rubi Enterprise	Dhaka	Bangladesh	2014	143-170
櫻井 孝	認知症の基礎知識	浦上克哉	内科医のための 認知症診療 はじめの一步	羊土社	東京都	2014	12-23
櫻井 孝	認知症の予防	NPO法人健康な脳づくりゆいぽおと	認知症にならないために	KTC中央出版	東京都	2014	17-47

Hattori H	Unclassified cases of behavioral variant of major frontotemporal neurocognitive disorder in the Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, 5th edition	井口明久	Geriatr Gerontol Int	日本老年医学会	東京	2014	35-44
服部英幸	高齢者に多い症候・抑うつ	大庭建三	すぐに使える高齢者総合診療ノート	日本医事新報社	東京	2014	52-57
服部英幸	認知症とせん妄の違いは	武藤芳照、鈴木みづえ	認知症者の転倒予防とリスクマネジメント	日本医事新報社	東京	2014	33-38
服部英幸	フレイルとうつ	葛谷雅文、雨海照祥	フレイル、超高齢社会における最重要課題と予防戦略	医歯薬出版	東京	2014	72-77

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Arai H, Ouchi Y, Toba K, Endo T, Shimokado K, Tsubota K, Matsuo S, Mori H, Yumura W, Yokode M, Rakugi H, Ohshima S	Japan as the frontrunner of super-aged societies: Perspectives from medicine and medical care in Japan.	Geriatr Gerontol Int		doi:10.1111/ggi.12450	2015
Ogama N, Yoshida M, Nakai T, Niida S, Toba K, Sakurai T	Frontal white matter hyperintensity predicts lower urinary tract dysfunction in older adults with amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.	Geriatr Gerontol Int		doi:10.1111/ggi.12447	2015
鳥羽研二	フレイルの概念と予防	J Journal of Rehabilitation Medicine	52(1)	51-54	2015
Iijima S, Aida N, Ito H, Endo H, Ohru T, Soderi T, Toba K, Harara K, Momose Y, Uemura K, Nakano H, Miura H, Kuzuya M.	Position statement from the Japan Geriatrics Society 2012: End-of-life care for the elderly.	Geriatr Gerontol Int.	14(4)	735-739	2014

N Kaneko, A Nakamura, Y Watanabe, T Katsumi, T Sakurai, Y Aonuma, M Bundara, A Takeda, S Niida, K Ito, <u>K Toba</u> , K Yanagisawa	Novel plasma biomarker surrogating cerebral amyloid deposition.	Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci	90(9)	353-364	2014
Sakurai T, Ogasuma N, <u>Toba K</u>	Lower vitamin D is associated with white matter hyperintensity in elderly women with Alzheimer's disease and amnesic mild cognitive impairment.	J Am Geriatr Soc	62(10)	1993-1994	2014
Shimizu A, Sakurai T, Mitsui T, Miyagi M, Nomoto K, Kokubo M, Bando Y, Kurohara T, <u>Toba K</u>	Left ventricular diastolic dysfunction is associated with cerebral white matter lesions (leukoaraiosis) in elderly patients without ischemic heart disease and stroke.	Geriatr Gerontol Int.	14(Suppl2)	71-76	2014
Sakurai T, Kawashima S, Satake S, Miura H, Tokuda H, <u>Toba K</u>	Differential subtypes of diabetic older adults diagnosed with Alzheimer's disease.	Geriatr Gerontol Int.	14(Suppl2)	62-70	2014
Sugiura S, Yasui M, Sakurai T, Sumigaki C, Uchida Y, Nakashima T, <u>Toba K</u>	Effect of cerumen impaction on hearing and cognitive function in Japanese older adults with cognitive impairment.	Geriatr Gerontol Int	14(Suppl2)	56-61	2014
Kamiya M1, Sakurai T, Ogama N, Maki Y, <u>Toba K</u>	Factors associated with increased caregivers' burden in several cognitive stages of Alzheimer's disease.	Geriatr Gerontol Int	14(Suppl2)	45-55	2014
Seike A, Sumigaki C, Takeda A, Endo H, Sakurai T, <u>Toba K</u>	Developing an interdisciplinary program of educational support for early-stage dementia patients and their family members: an investigation based on learning needs and attitude changes.	Geriatr Gerontol Int	14(Suppl2)	28-34	2014

Washimi Y, Horibe K, Takeda A, Abe T, <u>Toba K</u>	Educational program in Japan for Dementia Support Doctors who support medical and care systems as liaisons for demented older adults in the community.	Geriatr Gerontol Int	14(Suppl2)	11-6	2014
Ogama N, Sakurai T2, Shimizu A1, <u>Toba K</u>	Regional white matter lesions predict falls in patients with amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.	J Am Med Dir Assoc.	15(1)	36-41	2014
鳥羽研二	認知症医療の在宅医療の現状と今後の方向性	公衆衛生情報	11	6-7	2014
Y Matsui, R Fujita, A Harada, T Sakurai, T Nemoto, N Noda, <u>K Toba</u>	A new grip strength measuring device for detailed evaluation of muscle contraction among the elderly.	Journal of Frailty & Aging	3(3)	142-147	2014
鳥羽研二	認知症医療の現状と今後の方向性	保健の科学	56(8)	541-544	2014
鳥羽研二	認知症の予防と治療、ウィズエイジングの考え方	杏林医学会誌	45(2)	67-68	2014
鳥羽研二	高齢者のフレイル（虚弱）とリハビリテーション 高齢者のフレイルとは	全日本病院出版会	170	1-5	2014
鳥羽研二	グループホームの共同生活は最高の“非薬物療法”	日本認知症グループホーム誌 ゆったり	3・4月号	10-11	2014
Komatsu H, Furuya Y, Sawada K, <u>Asada T.</u>	Involvement of the strychnine-sensitive glycine receptor in the anxiolytic effects of GlyT1 inhibitors on maternal separation-induced ultrasonic vocalization in rat pups.	Eur J Pharmacol.	746	252-257	2015
Bun S, Ikejima C, Kida J, Yoshimura A, Lebowitz AJ, Kakuma T, <u>Asada T.</u>	A Combination of Supplements May Reduce the Risk of Alzheimer's Disease in Elderly Japanese with Normal Cognition.	J Alzheimers Dis.	Epub ahead of print		2014

Otaki M, Moriguchi K, Lebowitz A, <u>Asada T.</u>	Memories of falling in elderly patients with dementia: response concordance rate and reproducibility.	Psychogeriatrics.	Epub ahead of print		2014
Ikejima C, Ikeda M, Hashimoto M, Ogawa Y, Tanimukai S, Konashibayashi T, Miyanaga K, Yotemura K, Kakuma T, Murotani K, <u>Asada T.</u>	Multicenter population-based study on the prevalence of early onset dementia in Japan: vascular dementia as its prominent cause.	Psychiatry Clin Neurosci.	68(3)	216-224	2014
Omori C, Kaneko M, Nakajima E, Akatsu H, Waragai M, Maeda M, Morishima-Kawashima M, Saito Y, Nakaya T, Taru H, Yamamoto T, <u>Asada T.</u> , Hata S, Suzuki T	Increased levels of plasma p3-Alc35, a major fragment of A β 42, in Alzheimer's disease.	J Alzheimers Dis.	39(4)	861-870	2014
Mizukami K, Abrahamson EE, Mi Z, Ishikawa M, Watanabe K, Kinoshita S, <u>Asada T.</u> , Ikonovic MD.	Immunohistochemical analysis of ubiquitin-1 in the human hippocampus: association with neurofibrillary tangle pathology.	Neuropathology.	34(1)	11-18	2014
Endo G, Tachikawa H, Fukuoka Y, Aiba M, Nishimoto K, Shiratori Y, Matsui Y, Doi N, <u>Asada T.</u>	How perceived social support relates to suicidal ideation: a Japanese social resident survey.	Int J Soc Psychiatry.	60(3)	290-298	2014
Shiratori Y, Tachikawa H, Nemoto K, Endo G, Aiba M, Matsui Y, <u>Asada T.</u>	Network analysis for motives in suicide cases: a cross-sectional study.	Psychiatry Clin Neurosci.	68(4)	299-307	2014
Yamane T, Ikarashi Y, Nishio T, Ishii K, Ishii K, Kato T, Ito K, Silverman DH, Senda M, <u>Asada T.</u> , Arai H, Sugishita M, Iwatsubo T, J-ADNI Study Group.	Visual-statistical interpretation of (18)F-FDG-PET images for characteristic Alzheimer patterns in a multicenter study: interrater concordance and relationship to automated quantitative evaluation.	AJNR Am J Neuroradiol.	35(2)	244-249	2014

<p>Choy-Lye Chei, Kazumasa Yamagishi, Ai Ikeda, Hiroyuki Noda, Minako Maruyama, Renzhe Cui, Hironori Imano, Masahiko Kiyama, Akihiro Kitamura, <u>Takashi Asada</u>, Hiroyasu Iso, for the CIRCS Investigators</p>	<p>C-reactive protein levels and risk of disabling dementia with and without stroke in Japanese:</p>	<p>Atherosclerosis</p>	<p>236(2)</p>	<p>438-443</p>	<p>2014</p>
<p>Miyashita A, Watanabe Y, Kitamura N, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Furukawa K, Arai H, <u>Asada T</u>, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Morihara T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Saito Y, Hatsuta H, Murayama S, Kakita A, Takahashi H, Yamaguchi H, Akazawa K, Kanazawa I, Ihara Y, Ikeuchi T, Kuwano R.</p>	<p>Lack of Genetic Association Between TREM2 and Late-Onset Alzheimer's Disease in a Japanese Population.</p>	<p>J Alzheimers Dis.</p>	<p>41(4)</p>	<p>1031-1038</p>	<p>2014</p>

Yamagishi K, Ikeda A, Moriyama Y, Chei CL, Noda H, Umesawa M, Cui R, Nagao M, Kitamura A, Yamamoto Y, Asada T, Iso H; CIRC S Investigators.	Serum coenzyme Q10 and risk of disability. The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCUS)	Atherosclerosis	237(2)	400-403	2014
Maki Y, Yamaguchi T, Yamagami T, Murai T, Hachisuka K, Miyamae F, Ito K, Awata S, Ura C, Takahashi R, Yamaguchi H.	The impact of subjective memory complaints on quality of life in community-dwelling older adults.	Psychogeriatrics	14(3)	175-181	2014
Ikeda M, Tashiro Y, Takai E, Kurose S, Fugami N, Tsuda K, Arisaka Y, Kodaira S, Fujita Y, Makioka K, Mizuno Y, Shimada H, Harigaya Y, Takatama M, Amari M, Yamazaki T, Yamaguchi H, Higuchi T, Okamoto K, Tsushima Y, Ikeda Y.	CSF levels of Aβ1-38/Aβ1-40/Aβ1-42 and (11)C PiB-PET studies in three clinical variants of primary progressive aphasia and Alzheimer's disease.	Amyloid	21(4)	238-245	2014

Miyashita A, Wen Y, Kitamura N, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Furukawa K, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Moriyama T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Saito Y, Hatsuta H, Murayama S, Kakita A, Takahashi H, <u>Yamaguchi H</u> , Akazawa K, Kanazawa I, Ihara Y, Ikeuchi T, Kuwano R.	Lack of genetic association between TREM2 and late-onset Alzheimer's disease in a Japanese population.	J Alzheimers Dis	41(4)	1031-1038	2014
Maki Y, <u>Yamaguchi H</u> .	Early detection of dementia in the community under a community-based integrated care system.	Geriatr Gerontol Int	14 Suppl 2	2-10	2014
Toba K, Nakamura Y, Endo H, Okochi J, Tanaka Y, Inaniwa C, Takahashi A, Tsunoda N, Higashi K, Hirai M, Hirakawa H, Yamada S, Maki Y, Yamaguchi T, <u>Yamaguchi H</u> .	Intensive rehabilitation for dementia improved cognitive function and reduced behavioral disturbance in geriatric health service facilities in Japan.	Geriatr Gerontol Int	14(1)	206-211	2014

Kamegaya T, Araki Y, Kigure H; Long-Term-Care Prevention Team of Maebashi City, Yamaguchi H.	Twelve-week physical and leisure activity programme improved cognitive function in community-dwelling elderly subjects: a randomized controlled trial.	Psychogeriatrics	14(1)	47-54	2014
Rijal Upadhaya A, Kosterin I, Kumar S, von Arnim CA, Yamaguchi H, Fändrich M, Walter J, Thal DR.	Biochemical stages of amyloid- β peptide aggregation and accumulation in the human brain and their association with symptomatic and pathologically preclinical Alzheimer's disease.	Brain	137	887-903	2014
山口晴保, 中島智子, 内田成香, 野中和英, 松本美江, 牧陽子, 山口智晴, 高玉真光	群馬県の認知症疾患医療センターの活動実績と受診経過	Dementia Japan	28	329-338	2014
田中志子, 山口晴保, 中間浩一, 西千垂紀, 牧陽子, 斉藤正身, 宮里好一	介護老人保健施設における認知症の実態と対応 日本リハビリテーション病院・施設協会認知症対策検討委員会の調査	地域リハビリテーション	9	656-660	2014
工藤千秋, 鈴木央, 渡辺象, 北條稔, 荒井俊秀, 金則彦, 山口晴保	東京都大森医師会認知症簡易スクリーニング法(TOP-Q)の作成: かかりつけ医・介護職のための短時間で行う問診技術	老年精神医学雑誌	25	683-689	2014
中間浩一, 山口晴保, 西千垂紀, 田中志子, 斉藤正身, 宮里好一	訪問リハビリテーションにおける認知症の実態と対応 日本リハビリテーション病院・施設協会認知症対策検討委員会の調査	地域リハビリテーション	9	419-423	2014
山口晴保, 中間浩一, 西千垂紀, 田中志子, 牧陽子, 亀ヶ谷忠彦, 斉藤正身, 宮里好一	回復期リハビリテーション病棟における認知症の実態と対応 日本リハビリテーション病院・施設協会認知症対策検討委員会の調査	地域リハビリテーション	9	662-668	2014
山口晴保, 牧陽子, 山口智晴, 松本美江, 中島智子, 野中和英, 内田成香, 高玉真光	リバスチグミン貼付薬(イクセロンパッチ)の実践的投与経験	Dementia Japan	28	108-115	2014

永井久美子, 小柴ひとみ, 小林義雄, 山田如子, 須藤紀子, 長谷川浩, 松井敏史, 神崎恒一	老年症候群の適切な把握のためのもの忘れセンター予診票の作成に関する検討—予診票の妥当性と信頼性および回答者による回答率の差異についての検証—	日本老年医学会雑誌	51(2)	161-169	2014
Ishii S, Kojima T, Yamaguchi K, Akishita M	Guidance statement on appropriate medical services for the elderly	Geriatr Gerontol Int	14	518-525	2014
Yumi Umeda-Kameyama Y, Iijima K, Yamaguchi K, Kidana K, Ouchi Y, Akishita M	Association of hearing loss with behavioral and psychological symptoms in patients with dementia	Geriatr Gerontol Int	14	727-728	2014
Kawamura T, Umemura T, Umegaki H, et al.	Effect of renal impairment on cognitive function during a 3-year follow-up in elderly patients with type 2 diabetes: association with microinflammation	Journal of Diabetes Investigation	5(5)	597-605	2014
Umegaki H	Impaired glycemia and Alzheimer's disease	Neurobiol Aging	35(10)	e21	2014
Umegaki H	Type 2 diabetes as a risk factor for cognitive impairment : current insights	Clinical Interventions in Aging	2014(9)	1011-1019	2014
Matsubayashi K	Geriatric Issues from the Standpoint of Human Evolution. Geriatr	Gerontol Int	14(4)	731-734	2014
Otsuka K, Yamanaka T, Oinuma S, Cornelissen G, Sasaki J, Yamanaka G, Okumiya K, Matsubayashi K	Comprehensive Geriatric Assessment reveals sleep disturbances in community-dwelling elderly associated with even slight cognitive decline	J Am Geriatr Soc	62(3)	571-573	2014
Otsuka K, Cornelissen G, Yamanaka T, Oinuma S, Sakai J, Yamada G, Okumiya K, Matsubayashi K	Time estimation predicts an improvement of cognitive function in elderly community-dwelling people	J Am Geriatr Soc	62(5)	974-976	2014

Imai H, Yamanaka G, Ishimoto Y, Kimura Y, Fututomi E, Chen WL, Matsuka S, Tanaka M, Sakamoto R, Wada T, Okumiya K, Otsuka L, <u>Matsubayashi K</u>	Factor structures of a Japanese version of the Geriatric Depression Scale and its correlation with the quality of life and functional ability	Psychiatric Research	215(2)	460-465	2014
Fujisawa M, Uchino T, Nogami E, Hirosawa N, Morimura N, Saito A, Seres M, Teramoto K, Nagano K, Mori Y, Uesaka H, Nasu K, Tomonaga M Idani G, Hirata S, Tsuruyama T, <u>Matsubayashi K</u>	A case of maxillary sarcoma in a chimpanzee (Pan troglodytes)	Journal of Medical Primatology	43(2)	111-4	2014
<u>Matsubayashi K</u> & Okumiya K	Global Environmental Issues from the Viewpoints of Medical Surveys on Non-Caucasian Highlanders in the World	Himalayan Studies Monographs	15	2-12	2014
Okumiya K, Wada T, Fujisawa M, Ishine M, Garcia Del Saz, Hirata Y, Kuzuhara S, Kokubo Y, Seguchi H, Sakamoto R, Manuba I, Watofofa P, Rantetampang AL, <u>Matsubayashi K</u>	Amyotrophic Lateral Sclerosis and Parkinsonism in Papua, Indonesia: 2001-2012 Survey Results	BMJ Open	2014(4)	e004353	2014
Wada T, Imai H, Okumiya K, Fukutomi E, Ishimoto Y, Kimura Y, Chen WL, Sakamoto R, Fujisawa M, <u>Matsubayashi K</u>	Preferred feeding methods for dysphagia due to end-stage dementia among community-dwelling elderly people in Japan	J Am Geriatr Soc	62(9)	1810-1811	2014
Sakamoto R, Okumiya K, Ohno A, Ge RL, <u>Matsubayashi K</u>	Detection of Legionella Pneumophila at High Altitude in Tibetan Plateau	High Alt Med Biol	2014(2)	209-210	2014

Imai H, Furukawa TA, Kasahara Y, Ishimoto Y, Kimura Y, Fututomi E, Chen WL, Tanaka M, Sakamoto R, Wada T, Fujisawa M, Okumiya K, <u>Matsubayashi K</u>	Ipsative imputation for a 15-item Geriatric Depression Scale in community-dwelling elderly people	Psychogeriatrics	14(3)	182-187	2014
Kuroiwa Y, Miyano I, Nishinaga M, Takata J, Shimizu Y, Okumiya K, <u>Matsubayashi K</u> , Ozawa T, Kitaoka H, Doi Y, Yasuda M	The association between level of brachial-ankle pulse wave velocity and onset of A/DL impairment in community-dwelling older individuals	Geriatr Gerontol Int			in press
Okumiya K, Sakamoto R, Fujisawa M, Wada T, Chen WL, Imai H, Ishimoto Y, Kimura Y, Fututomi E, Sasiwongsaroj K, Kato E, Tanaka M, Hirosaki M, Kasahara Y, Nakatsuka M, Ishine M, Yamamoto N, Otsuka K, <u>Matsubayashi K</u>	The effect of early diagnosis and lifestyle modification on functional activities in the community-dwelling elderly with glucose intolerance in 5-year longitudinal study	J Am Geriatr Soc			in press
Fukutomi E, Okumiya K, Wada T, Sakamoto R, Ishimoto Y, Kimura Y, Chen WL, Imai H, Fujisawa M, Otsuka K, <u>Matsubayashi K</u>	Relationship between each category of 25-item frailty risk assessment (Kihon Checklist) and newly certified elderly under Long Term Care Insurance: a 24-month follow-up study in a rural community in Japan	Geriatr Gerontol Int			in press
Sasiwongsaroj K, Wada T, Okumiya K, Imai H, Ishimoto Y, Sakamoto R, Fujisawa M, Kimura Y, Chen WL, Fukutomi E, <u>Matsubayashi K</u>	Buddhist Social Networks and Health in Old Age: A Study in Central Thailand	Geriatr Gerontol Int			in press